

外国人が安心して
働ける環境考える

四日市でセミナー

外国人労働者を雇用する
企業が、安心して働ける職

場環境の整備や外国人への
日本語教育などを考えるセ
ミナーが1日、四日市市の
四日市商工会議所であっ
た。



外国人への日本語教育につ
いて議論する参加者＝四日
市市の四日市商工会議所で

外国人を雇用する企業に
日本語教育を実践してもら
おと、市が2021年か
ら毎年開く。オンラインを
含めて企業の担当者ら59人
が参加し、愛知淑徳大（愛
知県長久手市）ダイバーシ
ティ共生センターの鈴木崇
夫教授が講演した。

鈴木教授は外国人の在留
や就労の状況を解説。日系
人の定住者や外国人労働者
の家族など、日本語を学ば
ずに日本社会で暮らす外国
人が増えていると指摘し
「生活者としての日本語力
が必要。日本語教育を充実
させることが必要だ」と語
った。2019年制定の日
本語教育推進法で、雇用す
る企業にも日本語教育の責
務があることも紹介した。

トークセッションでは四
日市市の自動車販売「リョ
ウシンホールディングス」
と、愛知県豊田市の自動車
部品製造「東陽精機」の担
当者が登壇。企業内で日本
語教育をしている実例を紹
介し、効果や苦労などを議
論した。（秋田耕平）

2025年8月9日（土）中日新聞中日新聞朝刊北勢版（三重県）朝刊 16面より

この記事は中日新聞社の承諾を得て掲載しています。